

4 木曾山用水（きそやまようすい）

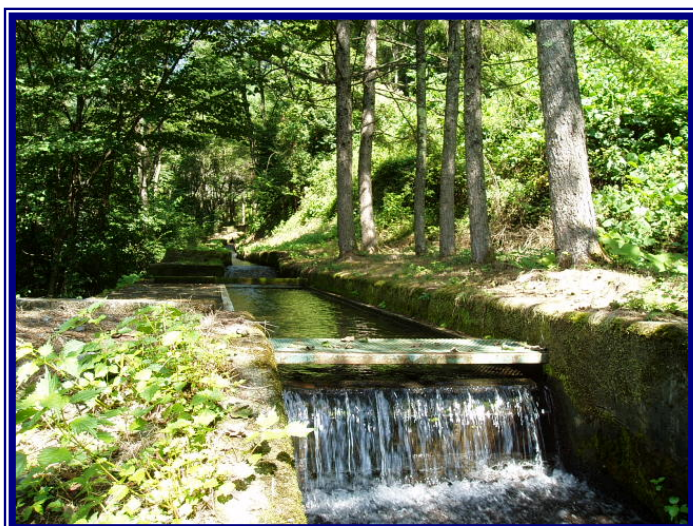
所在地: 塩尻市(旧木曾郡榑川村)～伊那市上戸、中条

築造: 明治6年 白川取水～権兵衛峠～ごぼう沢～北沢川 延長約12km

昭和43年 白川取水～木曾山トンネル～南沢川 トンネル延長945m

管理者: 松本市奈良井川土地改良区、上戸中条水利組合

伊那市と木曾を結ぶ権兵衛峠は日本海と太平洋の分水嶺となっていますが、この分水嶺を越えて木曾から伊那へ水が流れています。約140年間にも渡る試行錯誤の末、明治6年、奈良井川の源流である白川から権兵衛峠を廻る水路が完成しました。一定量の水を確保するために「水柵」(みずます)を造り、明治8年に筑摩県令により協定を結び管理しました。これにより、この水を小沢川に流し、同量の水を再び小沢川から上戸中条井(あがつとなかじょうい)へ取り込みすることができるようになり、西箕輪の台地が広く開田されました。その後、昭和34年の伊勢湾台風などでこの水路はたびたび破壊されたため、昭和43年にトンネルによる新水路を作り、旧水路は使われなくなりましたが、現在でも水量を計る「水柵検査」が行われています。「まほらいな いいとこ 百選」に認定されています。



ごぼう沢の水柵



トンネル入口の水柵